

平成21年緑化推進運動功労者
内閣総理大臣表彰受賞者・功績概要

[個人]

神山 精二 (栃木県鹿沼市)

[団体]

虹別コロカムイの会 (北海道野付郡別海町)

※ 蔵王町 向山行政区 (宮城県刈田郡蔵王町)

日置電機株式会社 本社工場 (長野県上田市)

※ 稲渕棚田ルネッサンス実行委員会 (奈良県高市郡明日香村)

大山の頂上を保護する会 (鳥取県西伯郡大山町)

※ 長尾ふれあいパーク花壇管理委員会
長生会園芸クラブ (香川県仲多度郡まんのう町)

上浮穴林材業振興会議 (愛媛県上浮穴郡久万高原町)

※ 遠賀川源流の森づくり推進会議 (福岡県嘉麻市)

[学校]

水戸市立梅が丘小学校 (茨城県水戸市)

高岡市立成美小学校 (富山県高岡市)

知多市立旭東小学校 (愛知県知多市)

[地方公共団体]

郡上市 (岐阜県郡上市)

※は国土交通省推薦の団体

[団 体]

ざ お う ま ち む か い や ま ぎ よ う せ い く
蔵王町 向山行政区

所 在 地 宮城県刈田郡蔵王町宮字白久保屋敷18
代 表 者 山家 昭夫

<功績の概要>

同地区では、老人会を中心にして、長年にわたり国道4号の緑地帯を利用しての花植えを行い、道路愛護、環境美化清掃に努めている。平成19年からは行政区民が一体となってこの活動に取り組み、環境美化の向上に努めている。

殺伐とした道路空間の中において、当該地の緑地帯には、彩りに飾られた多種の草花が咲き誇り、道行く車輛へひと時の安らぎを与えており、自ずとゆとりある運転にもつながり、交通安全に大きな役目を果たしているものと思われる。

また、道路空間は今や移動運搬するためだけの機能ではなく、公共空間としての多様な機能を求められており、健康志向の歩行者が多く利用するようになっている。こうした利用者の癒し空間の場としても効果をあげているところである。

こうした活動が認められ、平成4年には建設省東北地方建設局長からの感謝状を受け、平成10年には建設大臣から感謝状を受けている。また、本町の環境美化活動団体である「すばらしい蔵王町を創る協議会」の花いっぱいコンクールにおいて、平成20年度最優秀賞を受けるほど、道路愛護・環境美化活動の推進にますます努めている。

[団 体]

ながお かだんかんりいんかい
長尾ふれあいパーク花壇管理委員会
ちようせいかいえんげい
長生会園芸クラブ

所在地 香川県仲多度郡まんのう町長尾1102番地

代表者 会長 小林 利明

<功績の概要>

上記団体は、昭和39年2月に発足した老人会により結成された団体である。

当該老人会では、地域の清掃活動等を積極的に行っていたところ、平成11年3月に環境整備事業により土器川の河川敷に公園(長尾ふれあいパーク)が完成し、その公園内の花壇の管理を行っていくために、平成12年に当団体が結成された。

今日に至るまで、四季を通じて土器川河川敷の同公園の花壇に、さまざまな草花の植栽を行い、水やり・草抜きなどを継続して取り組み、花壇の維持管理に尽力している。

この、地道な活動によって、公園の利用者をはじめとした土器川を通行する多くの人たちに、潤いと安らぎの場を提供すると共に、美しく咲いた草花などを通じ、河川の環境美化・河川愛護思想の啓発・向上等にもつながっている。

[団 体]

おんががわけんりゅう もり すいしんかいぎ
遠賀川源流の森づくり推進会議

所在地 福岡県嘉麻市大隈町733

代表者 会長 森 裕治

<功績の概要>

同団体は、嘉穂町(現嘉麻市)の諮問機関である“まちづくり委員会”のメンバーが母体となり、町の将来像を描く過程で、遠賀川の源流が同町にあることを踏まえ、緑と水の循環に着目して、林業の衰退や後継者不足で荒廃した水源地の森林を再生し、「命の水」を育むことを目的として平成9年に発足した。

平成9年から始めた“源流の森づくり”では、遠賀川流域から毎回250名ものボランティアが集まり、これまでに延べ8ha以上に1万本以上の広葉樹の植樹や、植栽地の下草刈等を行っている。

夏期には、遠賀川上下流域の子供たちの交流を図り、森や水の大切さを体感してもらう“遠賀川流域児童体験交流会”を開催し、キャンプ場で一泊二日の宿泊をしながら沢登りや森づくり学習、カヌー体験など源流地域のフィールドを活かした体験の場を提供している。

また、近年では地元の大学と連携し間伐材を利用した製品の研究開発に取り組み、森林資源の循環を推進するなど活動の場を広げている。

その他にも、遠賀川流域の行政機関や住民団体等と協働して、遠賀川にサケを呼び戻す活動や河川・海岸の清掃活動に積極的に取り組むなど、遠賀川流域における“緑と水の循環”の推進に大きく貢献している。